

令和7年度 学校経営計画書

1 教育目標（目指す生徒像）

「知・徳・体」の調和のとれた、社会に貢献できる有為な人材の育成

石川県立穴水高等学校

校長 島崎康一

2 中・長期的目標（経営方針）

（1）学校の現状（地域等からの要望）

- ① 確実な進路実現を図るため、生徒の多様な進路志望や学力差に対応した指導が求められている。
- ② 心身ともに健全な生徒育成のため、規範意識を醸成し、社会性を高める指導が求められている。
- ③ 地域理解を深め、地域貢献意識の高揚を図るため、地域との連携を密にした指導が求められている。

（2）生徒に関する中・長期的目標

- ① 自己の将来を見据えた目標を持ち、主体的・意欲的に学習活動に取り組む姿勢を養う。
- ② 積極的に諸活動に参加し、切磋琢磨しながら人間力を高めようとする姿勢を養う。
- ③ 望ましい勤労観・職業観を持ち、進路実現に向けて着実に努力する姿勢を養う。

（3）教職員、学校組織等の望ましい在り方

- ① 学校経営方針のもと、PDCAサイクルに基づく、組織的な学校運営に努める。
- ② 地域・保護者との連携を深め、信頼され必要とされる学校づくりの推進に努める。
- ③ ワークライフバランスを尊重し、家庭や地域に関わる中で社会人としての資質を高める。
- ④ 日頃から危機管理の意識を高め、不測の事態においても適切に対応できる実践力のある組織となる。

3 今年度の重点目標

（1）生徒自身が自己の目標を見据え、課題に対して主体的・継続的に取り組む姿勢を養う。

【自己実現力】

- ① 進路選択に係る講話や体験活動等をとおして、キャリア意識の向上を促す。
- ② 習熟度（類型）別の授業・補習や学習課題等をとおして、自らの学ぶ意欲を高める。
- ③ 教育ICT環境を活用し、個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実をとおして、確かな学力を養成する。

（2）規範意識と協調性を高め、自他を思いやる心を醸成する。

【人間関係力】

- ① 学校内外の日常生活の場面で、TPOを前提とした判断と言動ができるよう支援する。
- ② 学校行事や課外活動をとおして、多様性を尊重しながら協働する姿勢を養成する。

（3）地域との交流・連携を密にし、地域を理解し貢献しようとする姿勢を養う。

【地域貢献力】

- ① 地域資源（自然・人材・団体・企業）や他校種と連携し、地域理解を深め、探究する力を養成する。
- ② 地域ボランティア等へ積極的に参加し、地域貢献意識を高め、課題解決力を養成する。
- ③ ホームページや広報誌等で、教育活動や生徒の様子を積極的に情報発信する。

（4）学校の教育力向上のため、組織力を高め、教師力の充実を図る。

【学校教育力】

- ① 授業改善と資質向上に主体的に取り組むとともに、組織的思考力や組織的行動力を高める。
- ② 業務改善の意識を持ち、効率的・効果的に業務を実践する。
- ③ 危機管理意識を高め、緊急時にも適切に対処できる学校組織を構築する。

